

御殿場市エコガーデンシティ構想

令和4年9月 御殿場市エコガーデンシティ推進協議会

御殿場市エコガーデンシティ構想

1. 目的 【エコガーデンシティの実現】

世界遺産富士山の麓にふさわしい、優れた環境と景観の形成と産業・経済振興が好循環するまちの実現を目指す。

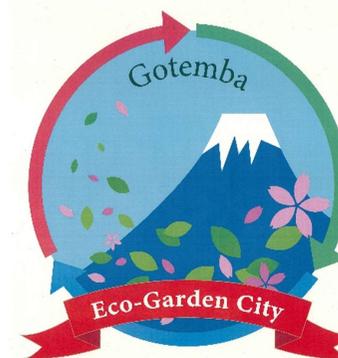
2. 手法

本市の地域特性や恵まれた自然・社会条件を活かし、産学官金の連携と市民参画により、先端技術も活用しながら環境と景観の改善に向けた取組を継続的に進めることにより、地域経済活性化や市の魅力・ブランド力向上の実現を図る。

《本市の地域特性、自然・社会条件》

富士箱根伊豆観光交流圏の中心にあつて、箱根・富士五湖方面への交通結節点に位置する。東京から約80kmとアクセス良好であり、交通便利性の良さから多くの企業進出がある。

富士山の湧水や伏流水・豊かな緑・清浄な空気など恵まれた自然とともに、後に世界遺産となった富士山の眺望を求め別荘文化が開花するなど、良好な環境と景観を有する観光交流の拠点都市。



エコガーデンシティシンボルマーク
(御殿場高校生活創造デザイン科生徒作成)



◎エコガーデンシティ化の推進サイクル～環境・景観形成と地域経済活性化の好循環～



エコガーデンシティ構想【重点項目】

優れた環境と景観のまちづくりを通じて先端技術開発等の産業振興や観光交流客増加などの地域経済活性化を実現するため、6つの重点項目を設定しています。

- ① 世界遺産富士山の前庭にふさわしい景観の形成
- ② 自然との共生・里山づくり・生物多様性の確保
- ③ 再生可能エネルギー導入・省エネなど地球温暖化対策の推進
- ④ 環境・景観保全を支える先端技術の活用（IoT、AI、ドローン等）
- ⑤ 地域資源を活用した商品開発やエコツーリズムの推進
- ⑥ 6Rの推進など循環型社会の形成



6つの主要プロジェクト

～先導的な取組（=リーディングプロジェクト）～

“ふじのくに”フロンティアを拓く取組に資する主要プロジェクトとして推進

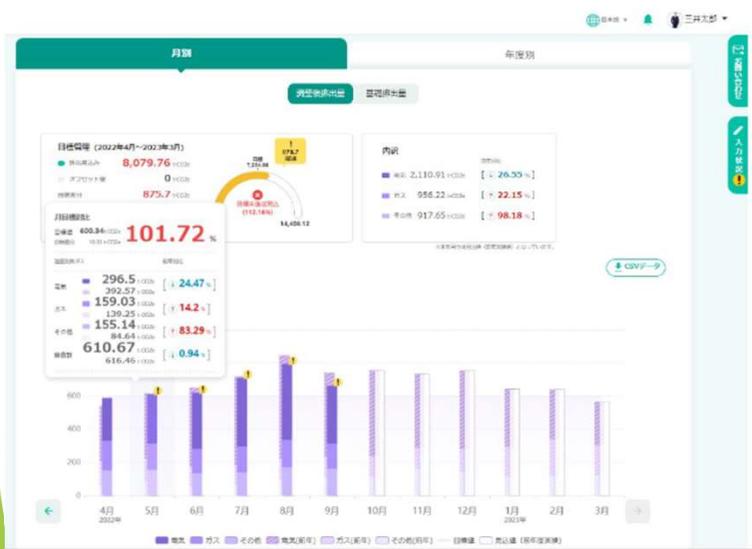
主要プロジェクト一覧

～先導的な取組（=リーディングプロジェクト）～

- 1 脱炭素（再エネ・省エネなど）の取組の見える化 【新】
市内企業・団体の先進的な事業研究 等
- 2 地域通貨による経済活性化 【新】
独自ポイントの地域循環の推進 等
- 3 富士山ビューポイントの整備・活用 【改】
箱根山系のビュースポットの整備及び富士山眺望遺産等の活用
- 4 自然環境を活かしたドローンの普及・運用の促進 【改】
産業・災害対応・測量等への活用や研究機関等の誘致による地域経済への波及
- 5 木育推進による関連産業の活性化 【新】
地場産材の有効な活用や各種産業への好循環の創出
- 6 多様な農業生産につながる農用地再生 【新】
米以外の新規特産作物の開発や農用地を生産農地として再生

1 脱炭素（再エネ・省エネなど）の取組の見える化

- ▶ まずはCO₂排出量の可視化（市施設で実証的にトライアル）



排出量削減のための具体的な方法の模索

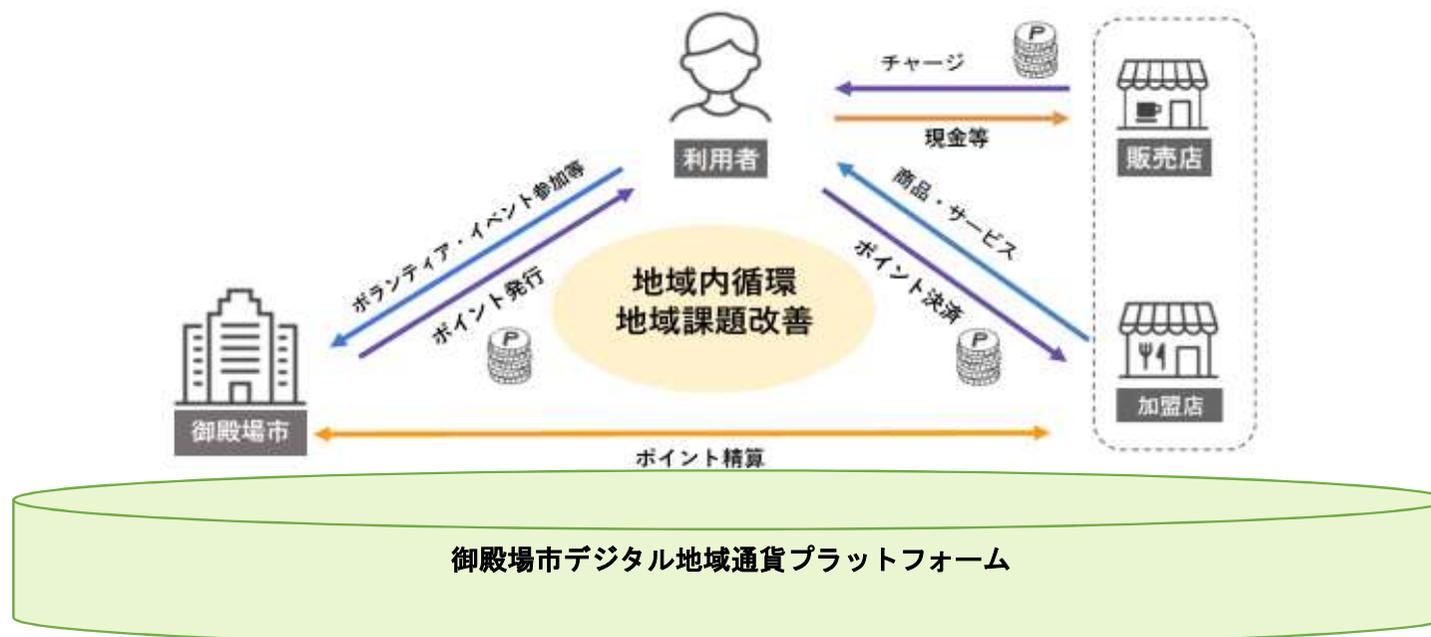


市内企業・団体への展開、情報提供 等



2 地域通貨による経済活性化

事業イメージ



各領域におけるデータ連携の前提となるデジタル地域通貨プラットフォームを構築しつつ、中長期的な目標となる路線バス運行状況等確認システムとの連携、高齢者移動手段確保のためのタクシー助成事業データ基盤との連携等に向けた研究を進める。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを





3 富士山ビューポイントの整備・活用

富士山ビューポイント整備状況について

令和2年度

■歩行者用
誘導案内看板の設置



■駐車場整備



■仏舎利塔裏立木伐採



■フェンス設置



令和3年度

■駐車場案内看板
の設置



■駐車場内看板の設置



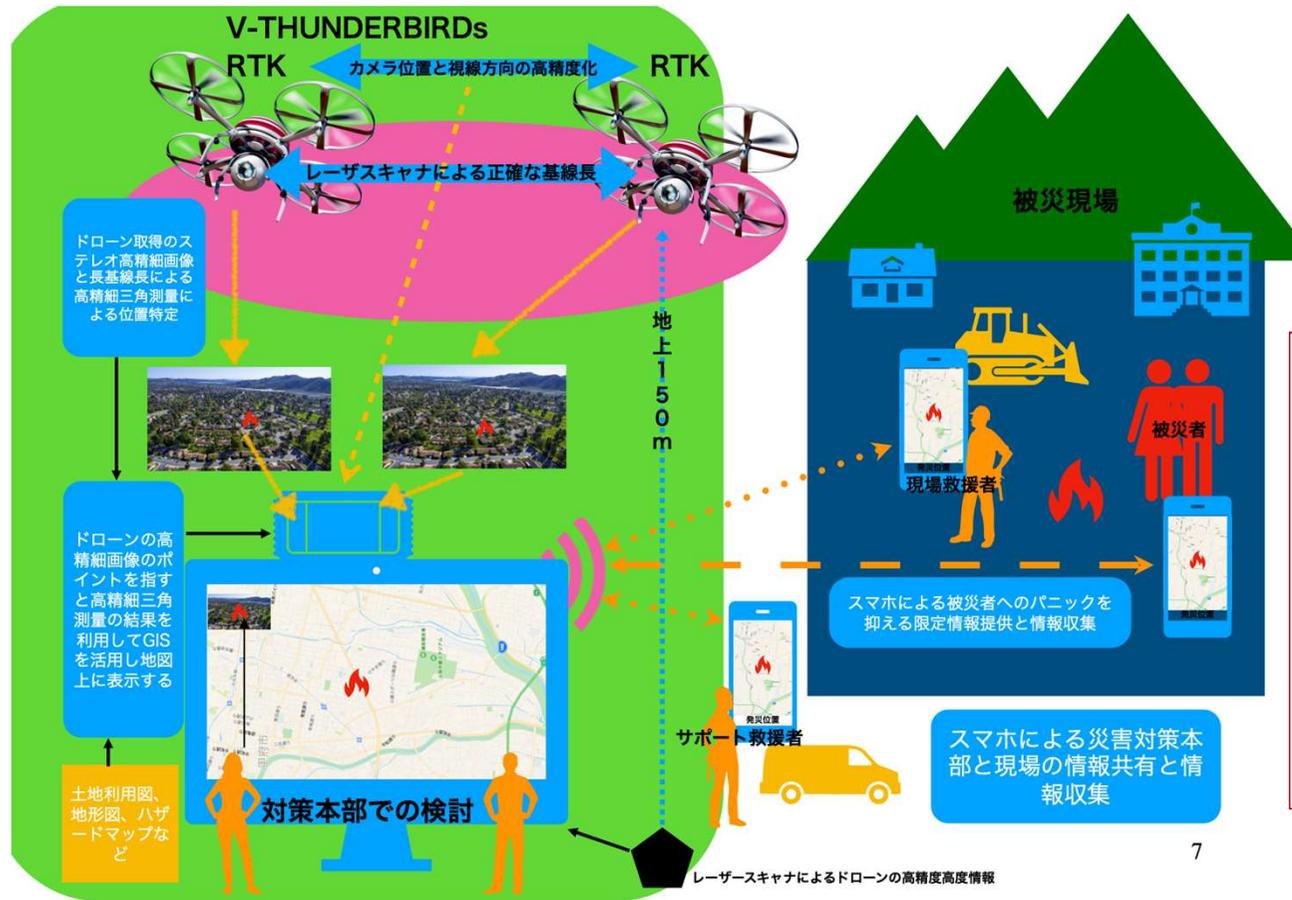
■丸嶽神社の碑周辺整備
(碑説明看板及びアプローチ)



現在、看板整備や駐車場整備
等着実に整備を進めている。

令和4年3月には、日本郵船
株式会社との連携協定をかわし
たことから、森林整備や環境教
育等で森林を活かした官民連携
事業が見込まれ、また以前から
の眺望地の計画もあることから、
2つの整合性を図りながら有益
な眺望スポットの整備を進める。

4 自然環境を活かしたドローンの普及・運用の促進



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

ASITE・御殿場市・千葉大学共同で受注した実証型研究：バーチャル物見櫓（V-THUNDERBIRDS）の実証実験を本市の防災訓練で実施予定。
その他にも、慶應義塾大学SFC研究所ともドローンの普及・啓発を行うために連携事業を行っており、引き続き、本市の特長を活かした事業を進めていく。

5 木育推進による関連産業の活性化

御殿場の木のぬくもりと共に 「ごてんば木育推進宣言」



本市はSDGsの理念に基づき、将来に向けて地域の森林や里山を守り、美しい自然環境を後世に引き継いでいくとともに、地域林材のブランド化など積極的な活用を図って、持続可能なまちづくりの実現を目指し、令和4年4月に「ごてんば木育推進宣言」を行った。

当協議会においても、市域全体の「木育」が推進されるように様々な事業を行う。





6 多様な農業生産につながる農用地再生

本市の農業産出額の約4割は米である。一方、市内の農地の約1割は、遊休農地・荒廃農地と推定され、雑草の繁茂など景観を損ねている箇所も散見される。

よって、農地・畦畔を適切に管理し、生産農地として再生されるように、関係機関・農業組織・農業経営者と総合的に推進していく。

多様 ⇒ 米の以外の作物生産の挑戦

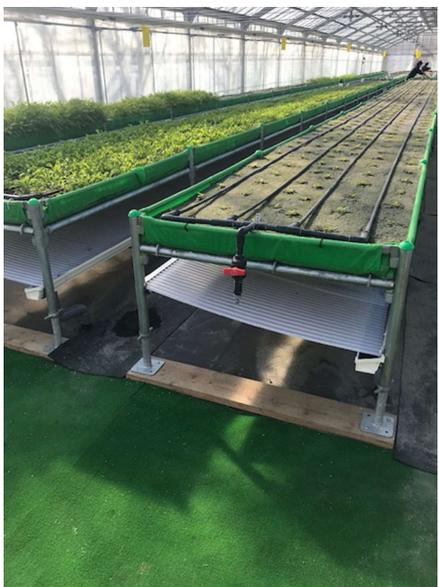
- ①とうもろこし、玉ねぎ、さつまいも、自然薯、杓イフルーツなど。
- ②ハウス栽培(イチゴ・トマト)、砂地栽培、水耕栽培。
- ③農業法人の参入による大規模な有機栽培。(楽天農業等)
- ④六次産業～干し芋(JA)、水かけつぼみ菜

農用地再生

- ①人・農地プランによる農地の賃借設定の推進
- ②農作業受委託の推進 ③鳥獣被害への対応
- ③法面・畦畔の草刈り幹旋 ④法面に芝張りによる草刈りの低減



→ 富岳会・砂栽培による野菜生産



→ 新規就農者によるイチゴ栽培



→ 紅はるかを使用した干し芋



→ 楽天農業・マルチ栽培有機農法



→ 高原ワイン・ブドウの栽培

